

▼INDEX▼

■【内部監査情報】
・「令和4年度内部監査（競争的研究費及び標準会計監査）」を実施中です
・「令和4年度内部監査（働き方改革関連法への対応に関する監査）」を実施中です
■【監査ニュース】
・雇用期間の上限　理研が来春撤廃　雇い止め問題 【10/1 朝日新聞】 外９件
■【連載企画】
・魁！！P 塾 「情報セキュリティに関する監査」編
■【Audit Cafe】
・スポーツ観戦記

表題写真：松島円通院のモミジ

内 部 監 査 情 報

・「令和4年度内部監査（競争的研究費及び標準会計監査）」を実施中です

競争的研究費及び標準会計監査において、10月より順次実施しておりました研究室ヒアリング並びに非常勤雇用者ヒアリングが、11月28日に終了しました。ヒアリング対象者の皆様並びに各部局事務の方々のご協力のもと、日程調整から当日のヒアリングまで無事に実施予定を完了することができました。お忙しい中ご対応いただいた皆様、誠にありがとうございました。

物品実査については、新型コロナウイルス感染症への対応として、令和2、3年度は全て写真実査として実施しておりましたが、本学の BCP レベルの動向を鑑み今年度は一部実地監査とし、実際に部局へ赴いて現物を確認させていただきます。現地実査の期間は12月中を予定しておりますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。

・「令和4年度内部監査（働き方改革関連法への対応に関する監査）」を実施中です

9月21日から実施しておりました令和4年度内部監査（働き方改革関連法への対応に関する監査）について、監査対象部局とのヒアリングが11月18日に終了しました。 働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律（平成30年法律第71号）等により、時間外労働の上限規制を含む労働時間法制の見直し等が行われたことから、本学における働き方改革関連法への対応状況の把握を中心に監査を実施しております。

監査対象部局の皆様には、お忙しい中、書面監査及びオンラインヒアリングにご対応いただき、誠にありがとうございました。

今後は監査で確認させていただいた内容に基づき、監査報告書を取りまとめた後、対象部局の皆様には監査報告書（案）の確認をご依頼する予定としておりますので、引き続きご協力をお願いいたします。

【内部監査計画・報告】の詳細は、コチラ↓

http://www.bureau.tohoku.ac.jp/audit/2-2index.html

監 査 ニ ュ ー ス

・雇用期間の上限　理研が来春撤廃　雇い止め問題 【10/1 朝日新聞】
・コロナ下の規制破る　課外活動「推奨」教員　停職 9 ヵ月　弘前大　懲戒処分 【10/7 河北新報】
・仙台市 23 年度予算編成方針　デジタル事業に重点 【10/8 河北新報】
・東工大「つばめ債」 300 億円調達めざす　施設整備や外国人招請へ 【10/13 読売新聞】
・東工・医科歯科、1 大学に　24 年度中に統合、名称検討 「卓越大」認定めざす　【10/14 日本経済新聞】
・エントリーシートに顔写真不要　企業次々　多様性・マイノリティー配慮 【10/17 朝日新聞】
・米大学ランキング　名門「転落」に波紋　コロンビア大の提出データ「不正確」
指摘の教授「順位付け無理ある」【10/18 朝日新聞】
・明星大元学生提訴　対面授業なし　賠償請求棄却　東京地裁支部 【10/20 河北新報】
・東大・阪大など 20 大学を資金支援
ヤフーやアマゾン・ウェブ・サービスの日本法人など約 10 企業 【10/28 日経産業新聞】
・役場内パワハラ 10 年以上放置　富山・舟橋　小さい「ムラ」の弊害
村長、2 度目の不信任で失職　専門家「住民参加の仕組みを」【10/28 河北新報】



連載企画



大学の中で行き場のなくなった不良職員たちを集め、過激なスパルタ教育を施すＰ塾。
不良職員たちを更生させるため、毎回、Ｐ塾長が大学業務の真髄を叩き込む。
第２１回となる今回は、「情報セキュリティに関する監査」についてです。


不良職員

９月の会議の議題に「サイバーセキュリティ対策等基本計画」があったけど、前に監査室のメールマガジンでも見かけたような…？


Ｐ塾長

よく覚えていたな！令和3年度に「情報セキュリティに関する監査」として内部監査を行っているぞ。監査室のHPに掲載されている内部監査報告書は確認したかな？

令和4年1月28日から4月1日にかけて実施した「情報セキュリティに関する監査」では、以下の2点について監査を行いました。

①「東北大学におけるサイバーセキュリティ対策等基本計画」の進捗状況に関する監査
②「東北大学オンライン事務化宣言」を受けた、オンライン業務における情報セキュリティ状況に関する監査

①「東北大学におけるサイバーセキュリティ対策等基本計画」の進捗状況に関する監査

国立大学法人等におけるサイバーセキュリティ対策等の更なる強化を目的とした文部科学省からの策定依頼を受け、令和元年10月から令和4年3月の2年6カ月に渡る「東北大学におけるサイバーセキュリティ対策等基本計画」（以下、「対策基本計画」とする。）が策定されました。

対策基本計画において、対策基本計画及び年度計画の進捗状況に関して監査室による監査の実施を定めており、この度は対策基本計画にある13項目の個別方針の実施状況を監査したところ、計画に沿った進捗が図られていると判断されました。

〇大学等が共通して対応すること

- 実効性のあるインシデント対応体制の整備について
- サイバーセキュリティ等教育・訓練や啓発活動の実施について
- 情報セキュリティ対策に係る自己点検・監査の実施について
- 他機関との連携・協力について
- 必要な技術的対策の実施について
- その他必要な対策の実施について



〇国立大学法人等が対応すること

- 情報セキュリティ対策基本計画の評価及び見直しについて
- セキュリティ・IT 人材の育成について
- 災害復旧計画及び事業継続計画におけるサイバーセュリティ対策等に係る記載の追加等について

〇先端的な技術情報等を保有する大学等が対応すること

- 先端的な技術情報等の漏えいを防止するために必要な措置の実施について
- 高度サイバー攻撃を踏まえた技術的対策について
- サプライチェーン・リスクへの対応について
- 組織内における必要な予算及び人材の優先的な確保について

②「東北大学オンライン事務化宣言」を受けた、オンライン業務における情報セキュリティ状況に関する監査

本学は、令和2年6月1日に「東北大学オンライン事務化」を宣言しています。「オンライン事務化宣言」及び「新型コロナウイルス感染拡大防止のための東北大学の行動指針（BCP）」において推進されてきたテレワークの実施状況と、テレワーク時の情報セキュリティインシデント防止への対応について監査を実施しました。

- 事務室における行動指針（ＢＣＰ）への対応としてテレワークの実施状況について
- テレワーク時の情報セキュリティに係るインシデント防止のための対策の実施状況について
- テレワークマニュアルの周知・活用状況について
- テレワーク実施のために大学が所有するノートPC等を貸出時の管理方法について

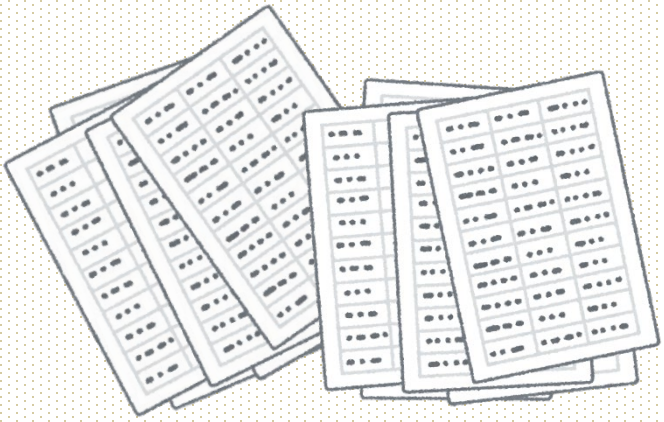
ほとんどの監査対象部局においてテレワークを導入し、情報セキュリティ対策を実施していましたが、一部不適切な取り扱いも見受けられました。

大学が所有するノートパソコン等について、貸し出し時の台帳等を整備していなかった。

大学の物品であるパソコン等の貸し出しを行う場合、財務会計に関するＱ＆Ａや情報セキュリティアセスメントの実施通知において、その使用状況を管理することとしており、管理方法として管理台帳の整備を提示している。

No	区分	質問	回答	担当課・室
17	物品関係	テレワークや出張のため、大学が管理するパソコン等を学外（自宅やサテライトオフィス等）へ持ち出して使用する場合、物品管理ルール上、どのように扱うべきか。また、物品管理業務として必要な手続きはあるか。	大学の業務として、大学が管理するパソコン等をテレワークや出張時に学外（＝事業場外での勤務場所）で使用することについて、物品管理事務取扱細則第５条により、物品を使用する職員（物品の使用責任者）は、物品の保管及び使用の状況を明らかにしなければならないと規定されており、経理責任者（物品の管理者）のもと、使用者及び使用場所が明らかにされていれば、学外での使用を行うことができる。 テレワークや出張等で一時的に使用場所を変更する場合は、以下の例を参考に、適切に設置場所の管理を行うことが望ましい。なお、セキュリティ対策の観点から必要な手続きについても十分に留意すること。 （管理方法の例） ・「管理者・所在別一覧表」等をもとに、使用者と使用する物品の資産番号を紐づけ、保管状況を明らかにする。 ・教職員グループウェアのスケジュール機能や備品予約機能等を活用し、物品の使用状況を管理する。	資産管理課

「財務会計に関するＱ＆Ａ」より抜粋



別紙１

「情報セキュリティリスクアセスメント」実施要領

1. リスクアセスメントの実施
本部事務機構内各課（室）の情報セキュリティ管理の課題を抽出し改善策の検討に役立てるため、以下の作業を実施していただきます。
実施内容：
1 「システム管理台帳」の作成（更新）
保有する情報システムを明確にします。

4 「共用ノートＰＣ及び記憶媒体の管理マニュアル」の作成
働き方改革や新型コロナウィルスの感染拡大防止のため在宅勤務も増加していますので、貸出用ＰＣやＵＳＢメモリ等の管理台帳を作成するとともに、ＯＳやウィルス対策ソフトのアップデートなどのルールを策定していただきます。
策定済みの場合は、運用上問題がないか見直しをしていただきます。

令和3年11月12日付け「「情報セキュリティリスクアセスメント」の実施について（通知）」より抜粋

管理台帳を整備していないと…

パソコンを今、誰が使用しているのかがわからず、万が一盗難や紛失が発生したとしても、すぐには気付かない可能性がある。

機密情報や個人情報の漏洩や端末のウイルス感染等のインシデントが発生した場合、貸し出し状況がわからないことでインシデントへの対応が遅れる、被害が拡大する可能性がある。

なお、テレワーク時における情報の取扱い注意事項は、テレワークマニュアルWEBサイトにも掲載されています。令和4年10月1日に改定された令和4年10月から令和7年3月までを対象期間とした「サイバーセキュリティ対策等基本計画」においても、テレワークにおける端末の使用について定めており、必要に応じて「テレワークマニュアル」の内容の見直しの継続が計画されています。この機会に、テレワークマニュアルWEBサイトを再度確認してみてはいかがでしょうか。

文科省への大学等からのインシデント報告は、半数近くがメールの誤送信や情報の意図せぬ公開など、基本的な情報セキュリティ対策の未実施や意識の欠如に起因しています。人為的なミス、抜け漏れのない組織をどのように構築・維持していくのかが課題であり、新技術の進展や新たな脅威の登場により対応しなければいけない内容も増加しているのが現状です。

「サイバーセキュリティ対策等基本計画」においても、「本学構成員に対する主体的なサイバーセキュリティ等の確保へ向けた意識向上」が基本方針の一つとされ、本学においても、DXの推進に伴い新システムの稼働やICTツールの利用等の拡大に伴い、一人ひとりがツールに応じた対策を確実に実施することで、インシデントの防止を図っていく必要があります。



不良職員

セキュリティ対策も複雑化しているみたいですけど、まずは自分ができる対策をしっかりやらないとですね。



P 塾長

今はテレワークやクラウドでの作業も増えている。セキュリティも含めた情報の取扱いの変化に柔軟に対応していく必要があるな！



P 塾長

私がここで不良職員たちにスパルタ教育を施して早3年…。だいぶ大学の業務について理解が深まったようだ。私がいなくてももう大丈夫だろう。
居場所のない不良職員を更生させるべく、次の大学へ向かうこととしよう。
さらばだ諸君！



【内部監査報告書】は、コチラに掲載しております↓

https://www.bureau.tohoku.ac.jp/audit/2-2index.html

Audit Cafe

毎月、監査室のスタッフが交代で「つぶやく」このコーナー！
今回のつぶやきは、「スポーツ観戦記」と言うお題のようです。
いったいどんな話になることやら・・・。

コロナ禍の中、スポーツ観戦はなかなかままならないですが、まずは、ラグビーの話題です。
65,188人、10月30日ラグビー日本代表対ニュージーランド代表（オールブラックス）戦の入場者数で、新・国立競技場としての最多記録が更新されました。
コロナ禍前の2020年1月に、新・国立競技場の最初のラグビーの試合として、大学選手権決勝（早明戦）が行われ、それ以来の新国立での生観戦です。観客席を覆う大屋根は片持ち 60mもあり、木材がふんだんに使われ、さすがの隈研吾氏設計かと。ただ、スタンド上部はかなりの高勾配で、3・4階席まで登ってみると、足がすくむほどです。



旧・国立競技場時代、ラグビーでは社会人や大学の試合を何度も観戦し、サッカーでも天皇杯決勝や日本代表戦での屋根無しのスタンドから溢れんばかりの観衆の迫力も経験しています。
東京五輪の開催決定で建て替えが決まり、2013年2月の旧・国立競技場最後となった大学ラグビー早明戦では、試合終了後に松任谷由実が「ノーサイド」を熱唱し、スタンドから感慨深く聞きました。翌年5月の競技場閉鎖最終日には、「SAYONARA 国立競技場プロジェクト」として、Jリーグや早明ラグビーのレジェンドマッチが行われ、聖火の灯が消された瞬間にも立ち会いましたが、まさに聖地としての存在感がありました。

その後、周囲の神宮外苑地区のスポーツ施設の整備計画は二転三転し、新・国立競技場は、五輪後に陸上のトラック部分を取り除き、球技専用スタジアムとなる計画でしたが、2025 年世界陸上のメイン会場となることが決まっており、年間の維持費が年 24 億円という、このレガシー施設の今後は果たしてどうなるのか。
一方で、神宮球場・第二球場と秩父宮ラグビー場の場所を入れ替えて建てる計画も進んでおり、新ラグビー場の構想が、完全屋根付き・人工芝で収容人員がラグビー開催時 15,547 人（現在約 24,000 人）、イベント開催時 20,547 人と、ラグビーよりも、その他イベント利用を重視した、信じがたい案となっています。
ちょうどニュージーランド戦の日、隣の神宮球場で日本シリーズ第7戦が行われ、秩父宮ラグビー場でのパブリックビューイングの観客と合わせると、神宮外苑周辺は三方からの観客（約9万人以上）で溢れかえっていました。

そのニュージーランド戦ですが、以前の日本代表なら、強豪国とのテストマッチで、“善戦”と歴史に語り継がれる点差（7点）だったとはいえ、かつて 1995W杯で17対145だった相手に、今回は勝てるチャンスがあっただけに、本当に惜敗と言えるでしょう。

2015W杯イングランド大会で南アフリカ戦に劇的勝利し、ラグビーファンを深夜に号泣させて、五郎丸のルーティンポーズが話題になり、一時的なブーム感が強いものの、ようやくラグビーファンが増え始めた感じがありました。前回の 2019W杯日本大会は、東京五輪 2020 の陰に隠れて開幕前の盛り上がりはいま一つでしたが、日本代表が『ONE TEAM』のスローガンのもと、過去最高のベスト8に入り、良い意味で「にわかファン」が増殖されたことで、大会も成功裏に終わったことは記憶に新しいところです。『ONE TEAM』は、流行語大賞

にも選ばれ、その後各所で一人歩きをするほど影響力がありました。
「出身地、文化、様々な生まれや背景が違っても目標に向かって一致団結し、その違いを乗り越えて一つになる。結束したチーム」という解釈です。

次回 2023W杯フランス大会の開幕まで1年を切っており、今度のスローガンは『OUR TEAM』で、「一人ひとりがチームを引っ張る意識を持つ。そうすることでチームは強くなっていく」ということです。
ニュージーランド戦の後、ヨーロッパ遠征でイングランド、次回開催国フランスとのテストマッチが行われ、いずれも勝利はできませんでしたが、来年の本戦に向けて、期待のできる試合内容でした。予選プールの対戦相手はイングランド、アルゼンチン、サモア、チリに決まっています。次回もベスト8突破の期待は高まっています。

次に、アメフトの話題です。
「パインボウル」をご存じでしょうか？「甲子園ボウル」や「ライスボウル」なら、聞いたことがあるかも知れませんが、正式名称は大学アメリカンフットボール北日本大学王座決定戦で、北海道学連と東北学連の代表校との間で行われる試合のことです。本学アメフト部「東北大学ホーネッツ」は、東北学生リーグの常勝チームで、これまで何度も「パインボウル」を制しています。
「ボウル・ゲーム」とは、アメリカンフットボールのポストシーズンに行われる試合で、ボウルとはスタジアムがボウル（丼）の形状をしていることにします。「甲子園ボウル」は、全日本大学アメリカンフットボール選手権大会の決勝戦のことで、甲子園球場で今年は12月18日に行われます。「ライスボウル」は、日本一決定戦で、以前は社会人と大学の王者が対戦していましたが、昨シーズンから、社会人の優勝決定戦をライスボウルとしており、こちらは東京ドームで毎年1月3日に行われます。

この「パインボウル」は札幌と仙台の隔年交替の開催で、11月13日にユアテックスタジアムで行われ、久々に生観戦しましたが、観客は300名ほどでした。試合は、東北大学ホーネッツが北海道大学ビッググリーンを17対7で退け、大学選手権2回戦への進出を順調に決めました。

「甲子園ボウル」を決勝とする全日本大学アメリカンフットボール選手権の大会方式ですが、昨年度までは、北日本を制すれば、関東代表との準決勝に進出し、これに勝てば東日本代表として西日本代表との決勝戦（甲子園ボウル）に進む流れでした。それが今年度からは、パインボウルを1回戦とし、関東代表と準決勝で戦う前に、2回戦で東海代表と争う形になり、甲子園ボウルへの出場チャンスは理屈上遠のきました。

しかし、その2回戦が11月19日に名古屋で行われ、ホーネッツは東海代表の中京大学イーグルスと戦い、延長の末26対20で劇的な勝利を飾り、関東代表との準決勝への進出を果たしました。



もともと甲子園ボウルは、関東と関西の代表校による大学王座決定戦として行われ、これは地域による競技の普及度・実力差が関東・関西とその他では大きかったためでしたが、2009年から全国の学連が参加しての「大学選手権」となり、関東・関西以外の地区からも甲子園ボウルへの道が開かれた形になりました。
実態は、過去に関東と関西以外の地区からの甲子園ボウルへの出場は無く、ホーネッツは何度も準決勝で関東代表に挑むも、跳ね返されて来たのです。2018年の準決勝は東京・調布で行われ、初めて準決勝を生観戦しましたが、その年は、早稲田大学に14対55で敗れました。

今年の準決勝（東日本代表決定戦）は12月4日に岐阜で開催される予定で、11月23日に行われる関東リーグの全勝対決となる、法政大学オレンジ対早稲田大学ビッグベアーズの勝者が相手になります。準決勝に勝って甲子園ボウル出場となれば、京都大学以来の国立大学2校目の快挙になります。

ぜひともジャイアントキリングを起こして、東日本代表になって欲しいところです。

監査室　S

最後までお読みいただきまして誠にありがとうございました。

引き続き、「おうでぃっとめーる」をどうぞよろしくお願い申し上げます。

バックナンバーは、監査室 WEB ページをご覧ください。

◆その他、各種お問い合わせは...

【電話でのお問い合わせ】

東北大学監査室

022-217-4874（監査室長：石垣）

022-217-5680，4880（佐々木、熊谷、齋藤、目黒、武田）

【メールでのお問い合わせ】

東北大学監査室

kansa@grp.tohoku.ac.jp

メールマガジンの一部または全部を無断転載することを禁止します。

© 2010 Audit Office Tohoku University